

課題 4 囲いわなによる効率的なシカ捕獲試験

(開発期間：平成 24 年度～平成 25 年度)

試験開発目的

近年シカによる林業被害が全国的に増えてきており、四国局でも新植地の食害、皮剥ぎ被害が多く発生している状況です。

このようなことから平成 22 年度から当センターで「ニホンジカ囲いわなに関する研究」として取り組んだ結果、餌により誘引して捕獲することはできたものの、設置場所、時季等のデータ収集が十分でなく、効率的な捕獲となっていない状況です。また、従来の囲いわなは、複数頭捕獲の可能性等がある反面、機動性が悪い(大きい、重い、設置に人役を要する等)ため、わなの運用に柔軟性に欠ける点が欠点でした。

このことから、捕獲効率を上げるためには捕獲時季や設置場所等のさらなる検討が必要であり、また、一般に利用されやすいわなの開発として低コスト化に取り組みます。

試験地

四国局管内

試験内容

小型の囲いわな(箱わなの改良)を製作・改良することとし、併せて低コストで製作できるわなを目指します・・・現在約 10 万円程度を 1/2(5 万円)程度とする

また、捕獲効率を上げるため、有効な誘引時季の検証、餌の設置場所の検討を行います。

試験結果(継続中)

平成 23 年 2 月から 3 月にかけて事前調査及び捕獲試行試験を実施しています。

わなは約 5 万円程度で製作でき(写真 1)、平成 24 年度は 70 頭の捕獲に成功しました。また、事務所にいながら捕獲が確認できる「携帯電話を使用した捕獲通知システム」(写真 2)を開発しました。

引き続き、より効率的に捕獲できるよう取り組んでいきます。



写真 1 製作したわなに捕獲されたシカ



写真 2 捕獲通知システム